

展開する事業群(1-1-5)

基本目標	1	子どもを育てる喜びが実感できる環境づくり
施策目標	(1)	母と子の健康づくり支援
基本施策分野		医療体制等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績
乳幼児医療費助成	就学前児童の医療費に係る一部負担金を助成	( )は平成18年度 平成19年9月から小学生の入院についても助成することとなり、事業名も「乳幼児医療費助成事業」から「子育て支援医療費助成事業」となる。 対象者数4,568人(4002人){0歳～3歳1,781人(1,793人) 3歳～就学前1,975人(2,209人) 小学生812人(無)} 利用延べ件数 64,382件(59,726件) 助成額 128,879千円(125,264千円)
医療体制の整備・充実	休日応急診療所事業の推進	( )は平成18年度 年間71日開設(70日) 受診者数 776人(876人) {6歳以下375人(420人)、7歳～15歳104人(114人)、16歳以上297人(342人)} 1日平均受診者数11人(12人)
	地域医療体制の充実 (病院群輪番制・八幡市休日応急診療所)	・病院群輪番制、八幡市休日応急診療所の利用 6人(平成18年度 13人) ・府事業として、小児救急電話相談事業、小児救急医療体制(山城北保健所管内は、宇治徳洲会病院・第二岡本病院・田辺中央病院)で輪番体制がとられ、その周知をはかった。 ・休日診療所開設時府の救急医療情報システムの活用をした。
関係機関との連携強化	関係機関との連携強化 (京都府保健医療計画における医療体制等の充実要請等)	京都府保健医療計画の見直しがおこなわれ、平成20～24年度までの5年間の計画が策定された。地域の保健医療を支える基盤整備、患者本位の安心・安全な医療体制の確立、および切れ目ない保健医療サービスの提供が計画の重点施策となっている。計画におけるに市町村の役割について認識するとともに、病院開設についての意見書を提出した。